



平成20年

穴川花園幼稚園

今日の「ののさま」のことば

せいめいそんちょう
生命尊重

6月号



園だより

いのちをたいせつにしよう。

今月の予定

日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食
				長	中	少	
3	火		一日		○		○
4	水	歯科検診	一日				
5	木		一日				○
6	金		一日	○			○
10	火		一日			○	○
11	水		半日				
12	木	年中組ルネサンスプール	一日				○
13	金		一日	○			○
14	土	ネイチャーランドQ園隊	休園				
16	月	年長組お茶のお作法	一日				
17	火		一日		○		○
18	水	午後研修会のため半日 6月生まれのお誕生会	半日				
19	木	年長組ルネサンスプール 年中組お茶のお作法	一日				○
20	金		一日			○	○
24	火		一日		○		○
25	水		半日				
26	木	おやおや活動	一日				○
27	金	年少プールあそび・避難訓練	一日			○	○
30	月	年少プールあそび	一日				○

【ぎょう虫卵検査】

健康管理の一環として、全園児のぎょう虫卵検査を、年に一回行っています。雑費袋に「ぎょう虫卵検査」と書いて、「210円」を6月6日（金）までに納入してください。本日、ピンテープを配布しました。方法は、ピンテープの袋に書いてありますが、31日～2日のいずれかの2回、朝あきたらすぐにテープにつけてください。幼稚園事務所、または園バスに、2日の朝提出です。

【歯科検診について】

保育中に行いますので付き添いはいりません。いつもより念入りに歯磨きをして登園させてください。検診結果は、後日お知らせいたします。

【夏園服着用で登園】

暑い時期の体操教室、課外教室の日も、バス・徒歩フツペン、お迎えリボン、課外バッチなどを、夏園服にきちんと付け、着て登降園してください。一日保育の暑い日、課外教室などは、園服を脱いで過ごしますので、登降園時にご協力ください。

【しゅっせきノートを見ましょう！】

「しゅっせきノート」の中の、各月のお子様の様子・出欠席表・健康診断表などをご覧になり、保護者印を押してください。また、園からのお手紙が入ったままにならないように毎日カバンの中をご確認ください。

なお、お預かりした連絡帳は、お手紙などがある場合以外は、出席される日までお預かりしています。その場合の連絡は、お手紙かお電話でお願い致します。

【園児の安全管理マニュアル】

国際救援金へのご協力をありがとうございます。幼稚園におきましては、地震の時など、安全かつ速やかに非難ができるよう、月に一回の避難訓練を実施しています。本日「園児の安全のために」を配布しました。園と保護者の皆様方とともに、できる限りの安全体制をとってまいりたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



今月の保育

単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・時計の針を見て、お片づけやお集まりの時間などに気づこうとする。	「今、何時かな？ ちょっと時計をみてみよう！」	年中、年少さんへのお世話も良くでき、「チャ、チャ、チャ」の活動へも集中して意欲的です。友だちと一つの目標に向かって、感じ、学んで、表現しようとする中で、いろいろなことへの興味や、意欲、探究心も旺盛です。友だちとの上手なコミュニケーションや自信がたくさん育まれますよう、お話をよく聞いてあげましょう。
	・皆で大切にしているお茶の葉を、心を込めて抹茶に変身させようとする。	「♪変身チャ、チャ、チャ、抹茶、チャ、チャ♪」	
年中組	・作ったものを使って、友だちとなりきって遊ぶ楽しさを知る。	「そろそろ ○○の時間かな!?」 (時の記念日にちなんで)	好きな遊びへの取り組みや、遊びたい思いに溢れ活発です。友だちと同じことをすることで、仲間意識を抱いたり、イメージが合うと、共感でき嬉しくなります。そのような過程では、時には「良いことも悪いことも一緒にいい！」気持ちもご理解を……。様々な体験から学べるよう、そっと観ていて、時には代弁してあげることがありますが、必要最小限に、適切に援助しましょう。
	・汗をかいたときや、遊んだあとの始末を自分でする。	「汗拭き、手洗い、気持ちいいね！」	
年少組	・生活の流れやリズムがわかり、できそうなことには、自分から取り組もうとする。	「パパといっしょ、だ〜いすき！」 (父の日にむけて)	先生との信頼関係ができ、園生活の方法やリズムがわかってきて安心して過ごせるようになってきました。子ども同士も「知らない子」から「いつも一緒にいる子」と、自然な存在です。でも、それぞれが自己主張しながら遊びますので、トラブルも日常茶飯事です。仲良く遊ぶルールを学べるよう、先生も懸命に援助します。
	・友だちとかがわって遊ぶ楽しさを味わう。	「小さな畑の かーぶーちゃん」 	



【ネイチャーランド看板】

先日はQ園隊ありがとうございました。みなさんに植えていただいたおいもの苗も、大地に根付きはじめ、葉も茎もピンとなってきています。風で飛ばされたりした看板を、自作、新調いたしました。

わくわく茶学

年長さんがお茶づくりに挑戦しています。

最近、お茶のことがテレビや新聞でも取り上げられるような気がいたします。それを先取りしての、年長さんのお茶の活動です。

よく学校などで、お茶摘みに行ったと聞きます。でも、摘んだ後は専門家に任せてしまい、出来上がったお茶を自分たちで摘んだお茶ということにするのが多いようです。

ところが、ところが、本園の子どもたちは、茶摘から始めて、茶葉を蒸して、かわいい手で揉んで、乾燥させてと、すべての製茶の工程をやるとういのです。茶葉を摘む前に、先生方がいろいろなきっかけ作りを仕掛け、茶摘の歌や手遊びなども覚えました。摘む葉っぱは「一芯二葉」ということを、子どもたちから教えてもらうほどでした。

いよいよお茶摘みの日。広い茶畑に90人以上の子どもたちが行くわけですから、トイレも心配です。そこで、トイレは災害用の簡易トイレに、インディアンのようなテントを張って、畑の脇に作りました。



茶畑の山本さんご夫妻です。お世話になりました。

その簡易トイレに入る子が、戸惑いもせずに入っていくのに、不思議だと思ったら、茶畑に行く前に練習済みだったそうです。「お家がこわれたら、ここに住めるヨ。」なんていう子もいました。

蒸しあがった茶葉を揉むのが上手な子がいます。粘土遊びが上手な○○くんです。そういえば、両手で粘土をひものように伸ばして、へびだとかみみずだとかいって、遊んだことを思い出しました。

そんな子どもたちの姿を見ていると、お茶という教材一つで、様々なことを学び・経験しています。歌・手遊び・言葉・災害時のことなどなど、そしてこれから出来上がったお茶の香りや味を体験し、お茶の入れ方に興味を持ったりもするでしょう。お茶といえば、コンビニでペットボトルという時代ですが、子どもたちにとってはまたとない教材です。これが本当の総合学習です。子どもたちが、この先どんなことを体験し、学んでいくのか、子どもたち以上にわくわくしています。